

令和7年度 第Ⅳ四半期

保証季報

四半期事業概況

月別事業概況

京の企業

株式会社京都卓球クラブ

金融機関紹介

京都銀行 大宮支店

お知らせ

令和8年度の京都府・京都市協調融資制度

京都府・京都市協調融資制度の主な変更点

令和8年度経営計画を策定 ～第249回理事会において承認～

フランス・パリにおける海外現地テストマーケティング事業を開催しました

京都“ことそら”プロジェクト 女性のための起業プログラムを開催しました

「京都探訪 Day」～日常を彩る京の逸品～を開催しました

京都再生ネットワーク会議を開催しました

伝統工芸視察研修を実施しました



東山区 / 高台寺

あなたの企業の一員に



京都信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

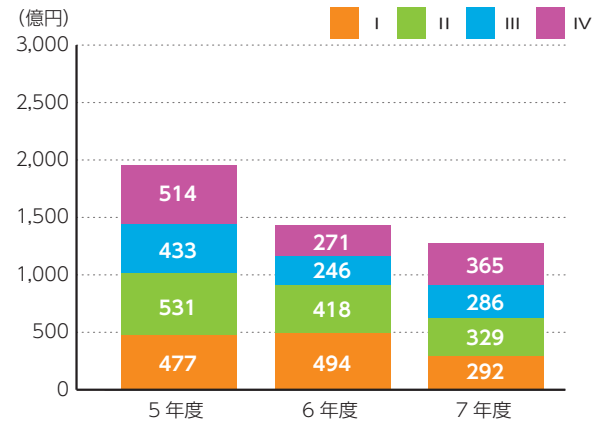




保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	1,796	29,212	74.0	59.2
II	2,062	32,936	91.0	78.8
III	1,845	28,636	125.2	116.3
IV	2,195	36,488	131.1	134.8
年度累計	7,898	127,272	100.8	89.1

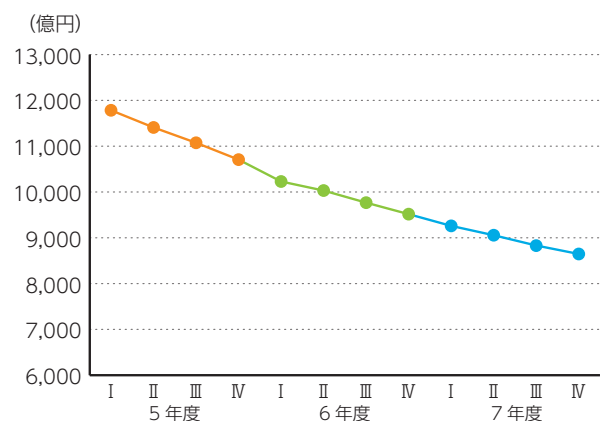


令和7年度第IV四半期の保証承諾は、2,195件、364億88百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で131.1%、金額で134.8%となり、件数、金額ともに上回りました。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	60,861	926,028	98.1	90.5
II	60,592	905,639	98.0	90.3
III	60,484	883,185	98.3	90.4
IV	60,589	864,707	98.9	90.9

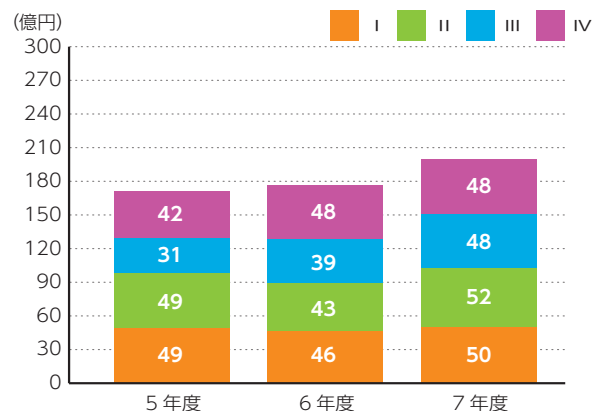


令和7年度第IV四半期の保証債務残高は、60,589件、8,647億7百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で98.9%、金額で90.9%となり、件数、金額ともに下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	275	5,026	105.8	109.2
II	337	5,227	124.4	121.4
III	260	4,840	105.3	122.8
IV	259	4,841	94.2	101.5
年度累計	1,131	19,933	107.4	113.2

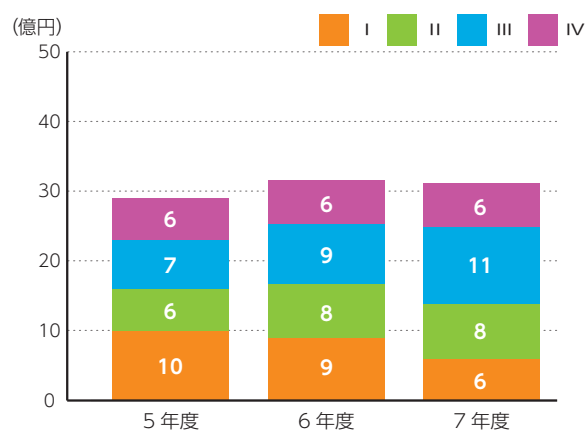


令和7年度第IV四半期の代位弁済は、259件、48億41百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で94.2%、金額で101.5%となり、件数は前年を下回り、金額は上回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	43	629	87.8	68.9
II	38	788	88.4	102.8
III	37	1,092	77.1	127.7
IV	47	632	114.6	99.5
年度累計	165	3,141	91.2	99.1



※損害金回収を含む。件数は完済分。

令和7年度第IV四半期の求償権回収は、47件、6億32百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で114.6%、金額で99.5%となり、件数は前年を上回り、金額は下回りました。

月別事業概況

保証承諾

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	527	8,532	73.2	58.1
5	590	9,905	76.6	63.4
6	679	10,775	72.5	56.5
7	684	10,796	64.0	47.3
8	621	10,458	104.7	103.8
9	757	11,681	125.5	131.5
小計	3,858	62,148	82.2	68.2
10	580	8,692	123.1	113.7
11	531	8,330	110.6	105.6
12	734	11,613	140.3	127.8
1	569	9,390	129.0	128.7
2	656	10,782	120.6	121.6
3	970	16,316	140.8	149.6
小計	4,040	65,124	128.3	126.0
累計	7,898	127,272	100.8	89.1
事業計画	—	130,000	—	—
全国累計	584,578	8,855,151	101.7	102.7

※全国累計は速報値。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	61,179	942,323	97.7	90.1
5	61,041	933,308	98.0	90.5
6	60,861	926,028	98.1	90.5
7	60,676	918,583	98.0	90.2
8	60,563	910,734	97.9	90.1
9	60,592	905,639	98.0	90.3
上期平残	60,819	922,769	97.9	90.3
10	60,564	897,670	98.0	90.3
11	60,522	889,841	98.2	90.4
12	60,484	883,185	98.3	90.4
1	60,538	875,919	98.6	90.6
2	60,510	869,015	98.7	90.6
3	60,589	864,707	98.9	90.9
下期平残	60,535	880,056	98.4	90.5
年度平残	60,677	901,413	98.2	90.4
事業計画	—	860,000	—	—
全国累計	2,883,254	32,900,501	99.0	96.0

※全国累計は速報値。

代位弁済

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	64	1,416	60.4	87.1
5	89	1,354	112.7	75.3
6	122	2,255	162.7	191.5
7	120	1,795	244.9	313.5
8	133	2,088	117.7	109.3
9	84	1,344	77.1	73.7
小計	612	10,253	115.3	115.1
10	93	1,824	127.4	184.3
11	79	1,343	84.9	77.3
12	88	1,673	108.6	138.0
1	71	1,495	74.0	81.2
2	105	1,817	145.8	139.9
3	83	1,528	77.6	93.9
小計	519	9,680	99.4	111.2
累計	1,131	19,933	107.4	113.2
事業計画	—	22,000	—	—
全国累計	48,176	549,104	99.7	99.9

※全国累計は速報値。

求償権回収

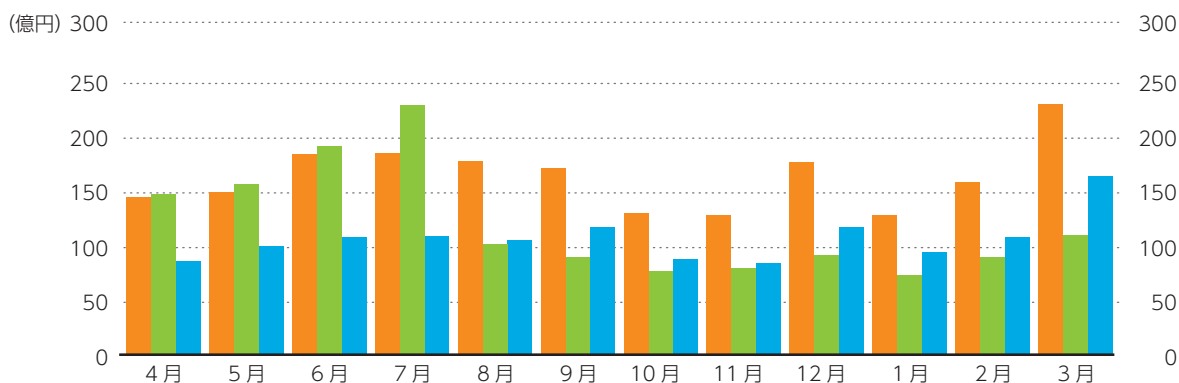
(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	13	166	72.2	61.7
5	19	281	105.6	76.2
6	11	182	84.6	66.3
7	19	283	105.6	99.7
8	8	198	53.3	72.4
9	11	307	110.0	146.7
小計	81	1,417	88.0	84.4
10	20	371	133.3	155.9
11	5	211	29.4	62.3
12	12	509	75.0	183.2
1	12	137	100.0	94.2
2	14	191	140.0	78.7
3	21	304	110.5	123.0
小計	84	1,724	94.4	115.6
累計	165	3,141	91.2	99.1
事業計画	—	2,700	—	—
全国累計	—	97,891	—	101.3

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

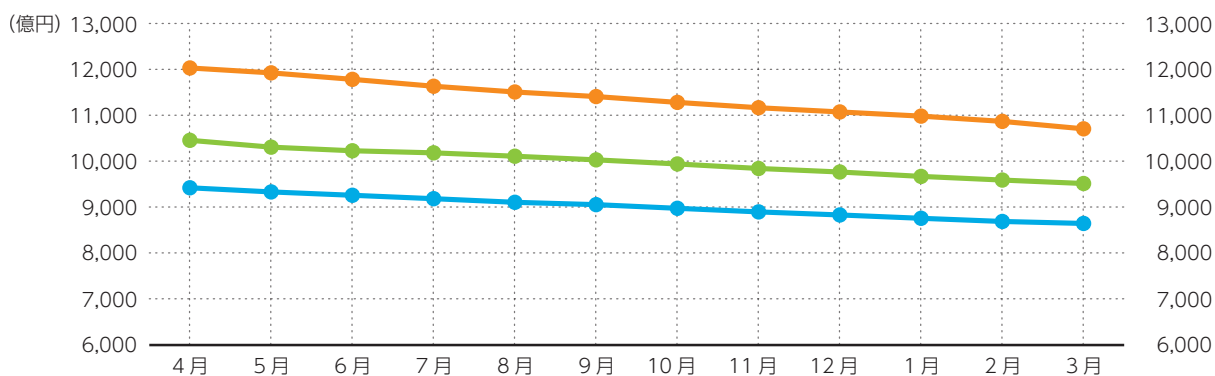
保証承諾

令和5年度 令和6年度 令和7年度



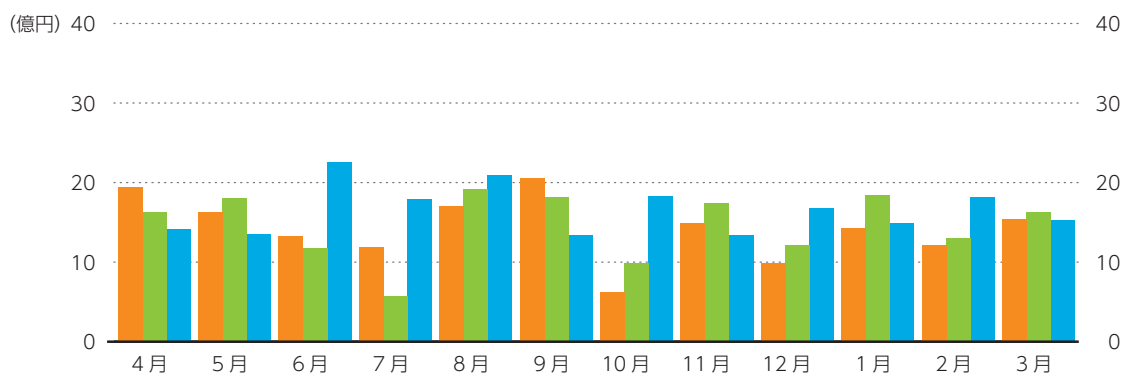
保証債務残高

令和5年度 令和6年度 令和7年度



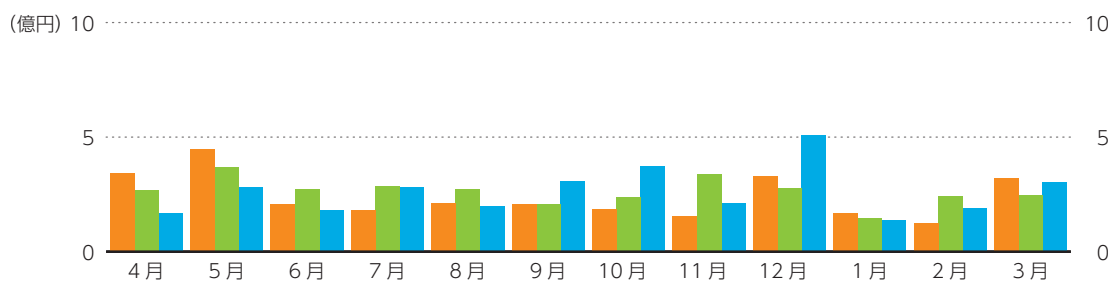
代位弁済

令和5年度 令和6年度 令和7年度



求償権回収

令和5年度 令和6年度 令和7年度



株式会社 京都卓球クラブ

株式会社京都卓球クラブは、京都府向日市に事務所を置き、Tリーグ所属の女子プロ卓球チーム「京都カグヤライズ」を運営しています。

今回、代表取締役 いけぶくろ はるみこ 池袋 晴彦 様に事業の歩みや強み、今後の展望についてお話を伺いました。

事業の歩みについて伺いました。

私は、京都市内で生まれ、幼少期の10年間を台湾で過ごし、帰国後、筑波大学体育専門学群へ進学しました。卒業後、京都市内の公立中学校で教諭として4年間勤務し、さらに学びを深めるために筑波大学大学院に進学しました。在学中に、文部科学省の『チーム「ニッポン」マルチサポート事業』として独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施するアスリート支援のパフォーマンス分析担当に応募。ロンドンオリンピック（2012）、リオデジャネイロオリンピック（2016）において、日本代表選手の映像分析スタッフとして、メダル獲得支援に携わりました。

2018年からは、女子卓球チーム「日本ペイントマレッツ」のコーチを4年間務めました。現場で経験を重ねるうちに、自分の指導者としての理念を実現できるチームを運営したいと考えるようになり、2021年11月頃から地元京都を拠点とする新チームの構想を練り始め、スポンサー企業の開拓や選手の確保等の準備を進めました。2022年1月に当社を設立し、同月末にはTリー

グへ新規入会を申請、5月10日に新規参入が正式承認されました。京都は、大学や企業等の卓球コミュニティが盛んな地域であり、そこから多くの縁や支援に恵まれました。加えて、私自身が台湾で過ごした経験から、中国の卓球選手と直接やり取りすることで新チームに入れることも実現しました。

そして、6月23日にチーム名を「カグヤ」（かぐや姫）と「アナライズ」（解析する）を組み合わせた「京都カグヤライズ」に決定し、同年9月開催の2022-2023シーズンからリーグ戦に参戦しました。参入当初は、厳しい戦いが続きましたが、2025-2026シーズンでは、参入から4年間、一勝もできなかった田村美佳選手（立命館大卒）が、五輪メダリストの平野美宇選手から初勝利をあげました。ひとえに地道に積み重ねてきた努力が報われた結果であり、京都カグヤライズの歩みそのものを表す一勝だと感じています。今後もチームとしての成長と、地域とのつながりを大切にしながら、必要な取組みを積み重ねていきます。

強みについて伺いました。

私たちの強みは、親企業を持たず、市民・行政・企業・学校との深い信頼関係を基盤としたクラブ型チームであること、そして当社代表である私自身がチーム運営に専念できる体制にあります。この強みを活かし、京都に根差した地域貢献活動を積極的に展開しています。たとえば、京都市交通局と連携したバス事業の担い手確保イベントへの参加や、スポンサー企業である株式会社島津製作所と連携した高速度ビデオカメラやX線CTを使ったボールの回転やラケット内部構造の分析等、スポーツチームの枠を超えた取組みを行っています。

また、スポンサー企業に対しては、単なる広告としての関わりだけでなく、課題解決のお手伝いをさせていただきたいと考えています。企業の店舗で地域の方々向けに卓球教室を開催する等、スポーツを通じて、企業と地域社会がつながる共創の場を作れたらと考えています。

チームのスローガンは、「ともに挑み、ともに強く。」です。一人ひとりの頑張りや誇りを積み重ね、京都から世界へつながる共創の舞台を目指していきます。

保証協会へのメッセージ

創業当初から保証協会に支援していただきました。また、専門家派遣を通じて、チームへの思いを初心から見つめ直す機会にもなりました。保証協会の担当者には試合観戦に来ていただいたこともあり、大変ありがたく感じています。



代表取締役 池袋 晴彦 様



卓球教室イベントの様子

今後の展望について伺いました。

「京都カグライズ」が京都の文化の一部になり、世代を超えて長く応援される存在になることを目標としています。そのためには、活動を地道に継続し、地域の方々に愛される循環を作り出す必要があります。活動を続けることで成果が現れ、応援して下さるファンも増え、試合収益の向上にもつながる良い循環が生まれると考えています。

また、SNS での発信はもちろんですが、学校訪問等を通じて、実際に卓球を体験してもらう機会を増やし、人々の気持ちを動かす実体験を提供することを大切にしています。

将来的には専用のアリーナを持ち、試合結果が新聞の一面を飾るような存在へと成長させていきたいと考えています。たとえ試合で負けても応援し続けていただける、そのような存在になりたいです。



卓球講習会の様子



大垣書店×京都信用保証協会「京都探訪 Day」

株式会社京都卓球クラブ

代表者 代表取締役 池袋 晴彦
 住所 京都府向日市上植野町御塔道 6-2
 プロパティ99 105 号室
 事業内容 プロ卓球チームの運営
 創業 2022 年



京都銀行 大宮支店



支店のスローガン

皆の成長が大宮支店の成長の源泉！ 地域で最も頼りにされる支店になろう！

メンバーの成長なくして、支店の成長はありません。また、お客様や地域の成長なくして、地域金融機関の成長もありません。地域から頼りにされる大宮支店になれるように、皆が成長できる支店作りを行い、地域も活性化する好循環を目指していきたいと考えています。

支店の沿革

昭和35年4月4日
現在地にて新設
昭和51年2月9日
店舗新築のため仮営業所に移転
(京都市下京区四条通大宮東入立
中町502番地)
昭和51年11月15日
店舗完成により元位置に復帰

支店管内の産業の特色及び中小企業金融の取組みなどについて

当店は、阪急大宮駅から徒歩2分、四条大宮交差点の東側に位置しています。四条大宮は、大正から昭和初期にかけて嵐電や新京阪（現阪急）の開通により、交通の要衝として発展し、特に1931年の阪急開通から1963年の河原町延伸まで「京都の新宿」と称された一大繁華街でした。戦後は特急も停車する中心地でしたが、現在は観光拠点の役割を持ちつつ、レトロな雰囲気を残す街並みとなっています。

保証協会との連携について

当店の取引先は、不動産、サービス、卸・小売業等の割合が多いものの、当店エリア外に本社を移転された製造業の取引先もあり、多くの業種が混在しています。近時の物価高騰やコロナ関連融資の返済本格化の影響で、資金繰りへの不安を感じている取引先は多いと感じています。引き続き、保証協会様と協調のうえ、金融支援・経営支援に取り組んでまいります。



〒600-8499
京都市下京区四条通猪熊東入ル唐津屋町 510



支店長のモットー

悠々として急げ

これはローマ時代の格言で、「焦らず、落ち着いて行動しながらも、物事を迅速に進めるべきである」という意味の言葉です。現代社会ではスピードが求められますが、焦りや慌ては判断ミスに繋がります。この言葉は、そのような状況でも冷静さを保ち、効率的に物事を進め、結果として早く目標に到達することを目指していくための心構えです。



支店長 野中 信宏 様

これまでで一番心に残る体験

本店営業部在籍時に、リーマンショックと東日本大震災を経験し、新任支店長就任直後にはコロナ禍を経験するなど、景気が大きく悪化した時期に営業現場で取引先や社会の様子を目の当たりにしたことが一番心に残っています。

社会を揺るがす事象により、多くの取引先が影響を受け、不安にかられる様子も多かったですが、そのような非常事態時にはいつも保証協会様に取引先の資金繰りや経営支援にご協力いただきました。大変感謝しております。

行員の方々へのアドバイス

事業を経営している以上、課題がない会社はなく、多くの経営者様は自社の課題をいつもお考えです。中には誰にも相談できず、孤独に悩んでおられる方もおられると思います。そんな時に良き相談相手になれるのは、地域金融機関の行員だと思います。そのような経営者様の気持ちに寄り添い、最適なソリューションを提供できる行員に成長して欲しいと思いますし、その結果、お客様の課題解決のお役に立てれば、喜び・やりがいに繋がると思います。

保証協会へメッセージ

地域経済活性化の原動力である取引先を支援することは、地域金融機関の使命です。そのような使命を果たすため、保証協会様とは密に連携を図り、取引先の課題をともに解決できる関係であり続けたいと考えています。引き続き、ご指導のほどよろしく願いいたします。

●お知らせ●

令和8年度の京都府・京都市協調融資制度

令和8年度の京都府・京都市協調融資制度は次のとおりです。ぜひご活用ください。

制度名	融資期間	制度限度額等	融資利率	
			政策レート	
中小企業支援融資				
一般資金 事業者選択型経営者保証非提供促進特別保証制度 協調支援型	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 無担保 8,000万円 ※【経営安定関連】を利用する場合は、別枠の利用が可能	所定(固定)	▲0.2%
経営あんしん融資				
小規模企業おうえん資金	10年以内	ベース枠 2,000万円【小口零細企業保証】(保証協会の全ての保証付き融資残高を含み2,000万円) ステップアップ枠 2,000万円(一般枠の無担保保証8,000万円の範囲内)	事業実績6月以上 1年未満の方は計500万円	年1.2% 年1.7% ▲0.2%
あんしん借換資金				
緊急枠				
売上減少等	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円		年1.8%
セーフティネット枠	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円【経営安定関連】 無担保無保証人 2,000万円(小規模事業者等) (別枠の全ての保証付き融資残高を含み2,000万円)		年1.2%(借換は年1.8%)
モニタリング強化枠 NEW	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円		年1.8%
危機関連枠	10年以内	2億8,000万円【危機関連】		年1.1%(借換は年1.7%)
中小企業下支え資金 経営改善・再生支援強化型(取扱期限:令和9年3月31日)	10年以内 ※特に必要と認められた場合15年以内 10年以内 ※特に必要と認められた場合15年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 ※【経営安定関連】【事業再生計画実施関連】を利用する場合は、別枠の利用が可能 有担保 2億円 無担保 8,000万円【事業再生計画実施関連(経営改善・再生支援強化型)】		所定
中小企業再生支援資金 ミニ長期安定資金 短期フォローアップ資金	10年以内 ※特に必要と認められた場合20年以内 運転 1年以内	2億円 1億円 無担保 8,000万円	※【経営安定関連】を利用する場合は、別枠の利用が可能 ※ミニ長期安定資金は、別枠の利用を含め1億円が上限	所定
災害対策緊急資金				
一般枠 セーフティネット枠 激甚枠	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 有担保 2億円 無担保 8,000万円【経営安定関連】 有担保 2億円 無担保 8,000万円【激甚災害】	※【経営安定関連】【激甚災害】を利用する場合は、別枠の利用が可能 ※ただし、【一般】、【経営安定関連】、【激甚災害】、【危機関連】、【東日本大震災復興緊急】、合算で有担保4億円、無担保1億6,000万円までが上限	年0.9%
東日本大震災緊急資金	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円【東日本大震災復興緊急】		年0.9%
産業活力推進融資				
創業支援資金				
創業型 無保証人型 事業転換・多角化型	10年以内	1,500万円【創業関連】 ※次のいずれかの要件を満たす場合は3,500万円 指定セミナー受講、経営支援受診、インキュベート施設入居、プロパー協調、伴走支援(創業/バリューアップ・創業サポーターによる助言・指導)、特定創業支援等事業 ※プロパー協調の場合は、独自融資での借入額の範囲内…⑦		年1.2% ※⑦の場合は、金融機関所定の固定金利
事業承継支援資金 無保証人型 無保証人借換型	15年以内 借換20年以内 10年以内 10年以内	2億8,000万円 2億8,000万円【事業承継特別】 2億8,000万円【経営承継借換関連】		所定 年1.2% 年1.2%
地域産業振興特区資金	5年以上10年以内 設備 15年以内	10億円 ※普通保証利用可能額の範囲内		年1.7%以内(固定)
和装産業取引改善等特別資金	10年以内	2億円		年1.7%以内
脱炭素経営促進資金	設備 15年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円		年1.4%以内(固定)

京都府・京都市協調融資制度の主な変更点

〈あんしん借換資金〉

- ・ 「あんしん借換資金（モニタリング強化枠）」が創設されました。
- ・ 「あんしん借換資金（緊急枠）」の申込資格要件が追加されました。
- ・ 京都府からの信用保証料補助が創設されました。

〈一般資金〉

- ・ 「一般資金（事業者選択型経営者保証非提供促進保証制度）」に係る保証料補助率の変更及び取扱期間が延長されました。
- ・ 「一般資金（経営力向上関連保証）」が廃止されました。

〈開業・経営承継支援資金〉

- ・ 「創業支援資金」と「事業承継支援資金」の2制度へ改編されました。

〈脱炭素経営促進資金〉

- ・ 取扱期間が延長されました。

〈その他〉

- ・ 福邦銀行について、京都市融資制度の取扱金融機関から除外されました。

令和8年度経営計画を策定 ～第249回理事会において承認～

深刻さを増す人手不足や米国関税等は、中小企業者等において大きな懸念材料であり、引き続き個々の事情に応じた迅速な金融支援を行います。また、金融と経営の一体型支援事業等において、強化してきた自治体・金融機関・経済関係団体との連携をさらに深化させ、中小企業者等の状況の変化の兆候を把握したプッシュ型の経営支援を地域の関係団体とともに展開し、売上高や収益面での改善に向けた支援を展開します。

債権管理においては、期中管理部門と債権管理部門とが連携し、債務者・保証人の資産・収入状況などを含め実状を的確に把握し、必要に応じて法的対応を迅速に行うなど、効率的な求償権の管理・回収に努めます。

加えて、多様な人材の確保・育成に努め、すべての職員が能力を発揮する企画提案型の組織づくりを推進します。

以上を踏まえ、令和8年度は、次の4項目を主要項目として取り組みます。

〈経営方針〉

- 1) 金融と経営の総合支援サービスの推進
- 2) 求償権関係者の状況に応じた適切な債権管理
- 3) 経営基盤の強化
- 4) コンプライアンスの徹底

〈事業計画〉

	令和8年度	令和7年度	対前年度計画比
保証承諾	1,200億円	1,300億円	92.3%
保証債務残高	7,770億円	8,600億円	90.3%
代位弁済	240億円	220億円	109.1%
回収	28億円	27億円	103.7%

● お知らせ ●

フランス・パリにおける海外現地テストマーケティング事業を開催しました

令和8年1月24日から2月17日にかけて、中小企業・小規模事業者の海外展開に向けたテストマーケティングの機会を創出し、事業者のさらなる発展に寄与することを目的に、フランス・パリにおける海外現地テストマーケティング事業を開催しました。

現地マーケティング企業（SAS ENIS）が運営するショールームをレンタルし、当協会の経営支援先で海外展開を検討する10社の商品を展示・販売するとともに、出展前のコンサルティングや現地一般消費者へのアンケートを実施しました。

開催中に西陣織の小物や独自性のあるトートバッグなど約350点を販売しました。参加企業からは、日本国内との違いや海外販路の可能性を感じることができたと言われました。



京都“ことそら”プロジェクト 女性のための起業プログラムを開催しました

令和8年1月から2月にかけて、「女性のための起業プログラム」を京都市、公益財団法人京都高度技術研究所と共催しました。

本プログラムでは、女性の起業に必要な知識やノウハウを専門家（公認会計士、弁護士、社会保険労務士、司法書士等）から学ぶとともに、多彩な女性起業家をお招きし、リアルな体験談を聞くことができる場を設け、アイデアの具現化の機会を提供しました。

また、起業支援に実績のあるプログラムナビゲーターによる個別メンタリングや参加者同士の交流を通じて、女性起業家のコミュニティ形成を後押ししました。



「京都探訪 Day」～日常を彩る京の逸品～を開催しました

令和7年12月から令和8年2月にかけて、中小企業者に対する経営支援の一環として、新規顧客の獲得及びマーケティング機会を提供するため、株式会社大垣書店と連携し、販売促進支援事業「京都探訪 Day」を開催しました。

大垣書店本店内の専用スペースにて、「日常を彩る京の逸品」をテーマとし、京都府内の事業者の技術や創意工夫によって製造された日常使いができる逸品を日替わりで展示・販売しました。



京都再生ネットワーク会議を開催しました

令和8年2月13日、当協会が事務局を務める令和7年度第2回「京都再生ネットワーク会議」が開催され、会員及びオブザーバー全17機関、総勢37名が出席されました。

会議は二部構成となっており、第一部では、当協会より「令和7年度の概況と主な取組み」及び「再生支援取組実績、モニタリング・フォローアップ状況」の報告を行った後、京都府中小企業活性化協議会の統括責任者中西宏介氏より、「京都府中小企業活性化協議会の取組み状況と課題認識」についてご報告いただきました。その後、地域経済活性化支援機構地域金融連携部担当部長坂本公輝氏より、「地域企業経営人材マッチング促進事業及びレビキャリア」についてご説明いただきました。

第二部では、株式会社麻生の執行役員・医療事業開発部長坂根隆氏、同部ディレクター稗島武氏、石井康平氏を講師にお招きし、「経営管理者の立場から見た医療機関の経営悪化とその対策について」をテーマに、医療機関を取り巻く厳しい環境や経営改善に向けた施策について事例を交えながらご講演いただきました。

会議終了後、講師を交えた意見交換の場を設け、胸襟を開いた対話を通じて、中小企業の再生支援におけるさらなる連携に向けた共通認識を深めました。



伝統工芸視察研修を実施しました

新入職員を対象に京都の伝統的工芸品について学ぶ「伝統工芸視察研修」を実施しました。清水焼の郷、公益財団法人手織技術振興財団織成館、西陣織会館を訪問し、伝統工芸の製造過程や現状の課題について学びました。



清水焼の郷



公益財団法人手織技術振興財団織成館



西陣織会館

協会組織図 (令和8年4月1日現在)

理事長 山内 修一

専務理事 川口 英之(担当:企業支援部)

副理事長 別府 正広(担当:企画総務部・支所)

常務理事 窪田 雅之(担当:債権管理部)

常勤監事 石田 一路

本所

経営監査室

室長/徳永(興) ————— [兼務] ————— [兼務]
課長補佐/松本 係長/西川

企画総務部

部長/玉野 ————— 副部長/長島(岳) —————

- 総務課** ————— 課長補佐/松本 ————— 係長/西川
課長/阪東 担当係長/山口(葉)
担当課長/高山
業務推進役/石井
- 人事課** ————— 係長/中川
課長/重松 係長/西澤(栄)
- 情報企画課** ————— 課長補佐/小嶋 ————— 担当係長/日下部
課長/若木 [東京信保出向(システムセンター)]
推進役/上松

コンプライアンス室 ————— [兼務] ————— [兼務]
[兼務] 担当課長/高山 担当係長/山口(葉)
室長/長島(岳)

企業支援部

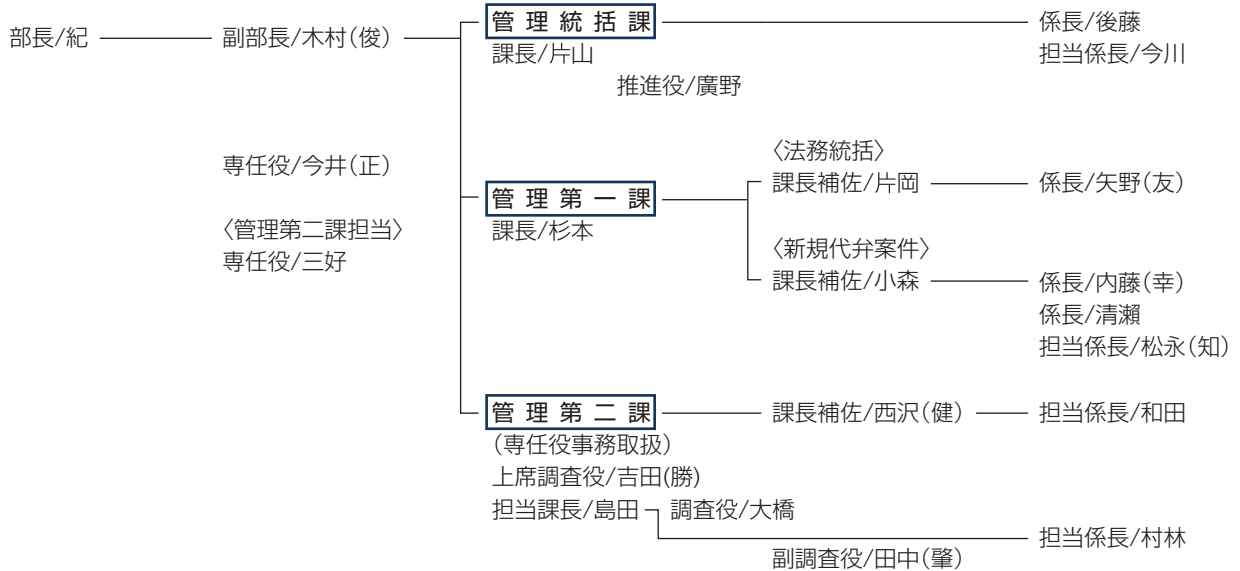
部長/大月 ————— 副部長/坂越

担当部長/吉田(基) ————— 副部長/松永(和)
副部長/糠谷

- 保証統括課** ————— 係長/西山
課長/横澤 担当係長/廣瀬
- 企業発展課** ————— 課長補佐/土居 ————— 担当係長/戸出
課長/吉村(晃)
担当課長/矢野(哲)
- 企業支援課** ————— 課長補佐/石河(俊) — 係長/小坂(勇)
課長/内海
推進役/東郷(克)
- 経営支援課** ————— 課長補佐/大嶋 ————— 担当係長/小川(亮)
課長/村井(章) 担当係長/藤村(真)
推進役/三輪 担当係長/濱野
- 再生支援課** ————— 係長/山形
課長/掛田 担当係長/篠(英)
担当課長/浅井
- 調整支援課** ————— 課長補佐/高木 ————— 係長/小林
課長/廣部

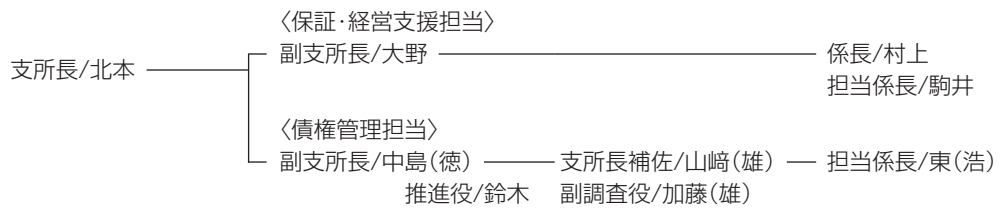
本所

債権管理部

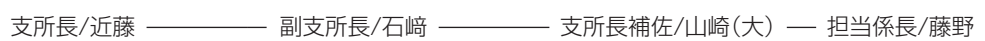


支所

山城支所



南丹支所



中丹支所



丹後支所



本所

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷
 鉾町78番地 京都経済センター5階

●業務区域	京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡	
●電話		●FAX
保証統括課	課：(075) 354-1011	(075) 354-1061
企業発展課	課：(075) 354-1012	(075) 354-1062
企業支援課	課：(075) 354-1013	(075) 354-1063
経営支援課	課：(075) 354-1015	(075) 354-1065
経生支援課	課：(075) 354-1016	
管理統括課	課：(075) 354-1031	(075) 354-1038
管理第一課・第二課		
総務課	課：(075) 354-1021	(075) 354-1028
(経営監査・コンプライアンス室)		
人事課	課：(075) 354-1022	(075) 354-1028
情報企画課	課：(075) 354-1023	(075) 354-1029

専用相談窓口

●電話	
事業承継サポートデスク	(075) 354-1018
海外展開サポートデスク	(075) 354-1019
創業サポートデスク	(075) 354-1020

山城支所

〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山37番地の3

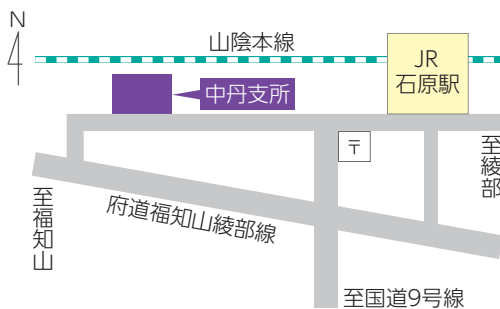
- 業務区域 宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡
- 電話 保証関係：(0774) 43-8822 管理関係：(0774) 43-8823
- FAX 保証関係：(0774) 43-8899 管理関係：(0774) 43-8824



中丹支所


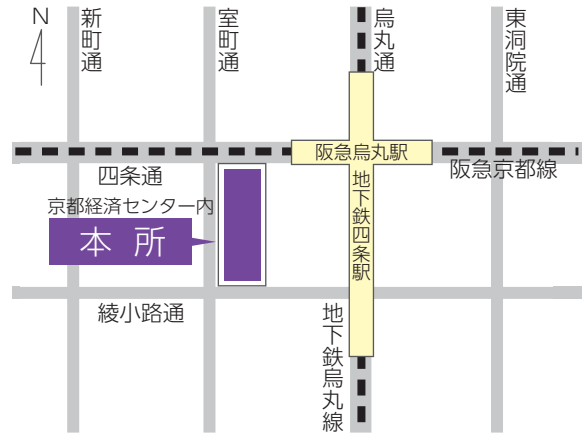
〒620-0804 福知山市石原2丁目24番地

- 業務区域 福知山市、綾部市、舞鶴市
- 電話 (0773) 27-6156 ●FAX (0773) 27-6158



お役立ち情報を公式LINEにて随時配信中！
 ぜひ、友だち登録をお願いします！

LINEID @cgc-kyoto

南丹支所

〒621-0052 亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

- 業務区域 亀岡市、南丹市、船井郡
- 電話 (0771) 22-1041 ●FAX (0771) 22-6737



丹後支所

〒629-2503 京丹後市大宮町周枳小字古屋敷1925番地1

- 業務区域 宮津市、京丹後市、与謝郡
- 電話 (0772) 68-0601 ●FAX (0772) 68-0613

